

105 年前は「里程標」、今年は信号機設置

平成23年12月19日（月）



信号機を見に行き、石柱に気が付きました。小林駅の文字が彫られていました。よく調べてみると、これは、「里程標」＜道ばたなどに立てる、里程（みちのり）を記した標識＞でした。

（上の写真の影は誰でしょう？）



里程標の向こうに、新設の信号機が見えます。

☆何と、明治39年（1906年）12月に建てられたものでした。奇しくも、同じ12月に、同じ場所に、信号機が設置されるという、時代の進歩、歴史を感じさせるものでした。タイムトラベラーの気分でした。

☆石柱は、風化している部分もあり、彫られた文字は判読しにくいものもありましたが、たぶん、4つの面は下記の内容だと思います。

- ・ 小林駅 拾四町貳拾九間五尺
- ・ 宮崎?? 拾四里 西諸縣郡小林村大字堤
- ・ 野尻駅 参里五町拾九間参尺
- ・ 明治三十九年 十二月 建

☆昔の日本の長さの単位

- ・ 1里＝36町≒3.9km
- ・ 1町＝60間≒109m
- ・ 1間＝6尺≒1.8m
- ・ 1尺≒30.3cm

☆何度も、その場所を通っているにもかかわらず、気付かないことってあるものですね。